としょだより 5月号

令和7(2025)年4月30日
吹田市立吹田第六小学校図書館

今年の八十八夜は5月1日です！

八十八夜とは立春から88日目の日のことで、イネの種まきや茶つみの目安にされます。

イネの種まきといえば、米に関する本は高学年図書室6類の棚にたくさんありますが、
その中から『大研究　お米の図鑑』と『棚田を歩けば』という本を紹介します。

『大研究　お米の図鑑』
本林 隆：監修　国土社編集部：編集　国土社　2016年の本
お米ってどんな食べもの？　田んぼってどんなところ？
お米の歴史、お米のつくり方、お米をつくるための田んぼの役割など、
お米に関することがらを、写真やイラストとともにわかりやすく紹介。
総合的な調べ学習に最適の図鑑。

『棚田を歩けば』
青柳 健二：文・写真　福音館書店　2007年の本

棚田に行くと、美しい風景を目の前にします。
お米の育つ姿に出会えます。そして、なにより元気になります…。
10年以上、日本・アジア・アフリカの棚田を訪ね歩いた著者による、
棚田の写真集。稲作基礎講座なども収録。

また、戦国武将が好きな人のなかには真田信之の正室で本多忠勝の娘である小松殿が
稲姫とも呼ばれることを知っている人もいるかもしれませんね。
高学年図書室2類の棚にあるポプラ社のコミック版日本の歴史シリーズに、
小松殿の父『本多忠勝』や真田信之の父『真田昌幸』や弟『真田幸村』があります。

『本多忠勝』

『真田昌幸』

『真田幸村』

「茶つみ」という歌があるのは知っていますか？
八十八夜のころにみられる茶つみの風景をうたったもので、
手あそび歌としても楽しまれています。

『日本茶のひみつ』高学年図書室　5類
学研まんがでよくわかるシリーズ　2007年の本
お茶について歴史からいれ方までさまざまなことが書かれています。
また、日本茶と世界のお茶のちがいについても書いてあります。

貸出できない本ですが……高学年図書室の百科事典・図鑑のコーナーにある
『ポプラ社・ゲーム大百科6　にこにこ伝承あそび101』に
茶つみの歌と手あそびのやり方がのっていますよ。

5月5日は端午の節句です

5月5日は男の子の成長をねがって、金太郎や加藤清正などの歴史や伝説で活躍する人物の
人形を飾ったり、強い武士に育つようによろいやかぶとを飾る武家の風習が残っていたり、
出世をねがってこいのぼりを飾ることがあります。
また、子孫繁栄をねがってかしわもちを食べることもあります。

低学年図書室にある絵本『きんたろう』と『そらとぶこいのぼり』を紹介します。

『きんたろう』さねとう あきら：文　田島 征三：画
天の雷の父親に世のため人のために力を使えと教えられていた金太郎は
ある日、侍が狩りに訪れたのを機に野山を駆け回る生活に別れを告げ、
侍の家来となり京に向かいます。

『そらとぶこいのぼり』西本鶏介：作　かみや　しん：絵
こうちゃんがようちえんで作ったビニールのこいのぼりを追いかけると、
ペロリとのみこまれて空の旅へ。

４月の図書イベントの結果

４月９日から２５日に高学年図書室で開催していたイースター・エッグハントで
みんながみつけたイースターエッグの数はぜんぶで９４個でした。
さかなつりで手に入れた３冊目が借りられる券は５月２日まで使えます。

５月の図書イベント

２年生から６年生のクラスで図書の時間がはじまりました。
学期はじめの図書の時間のオリエンテーションで、本の並べ方のきまりについて話しました。
図書室での本の探し方について知っているだろうということで、
５月からは「本で調べてこたえよう　Library　Quiz」を開催します。
（※Libraryとは英語で図書館のこと。）
毎月その月にある行事などをテーマに図書室にある本を使ってクイズを出題します。
５月はこどもの日（端午の節句）やお茶などをテーマにクイズを作りました。
クイズを作るのに使った本や、その本のどのページを見れば答えがわかるかなどのヒントを
図書・掲示委員会の図書の当番に来た人に渡すので、
クイズが難しいときは当番の人にヒントをもらってください。
クイズのむずかしさや、なににについてのクイズかといったことから、
「自分で選んで」チャレンジするタイプのクイズです。

Library　Quiz　皐月の陣

＜チャレンジできる期間＞
５月７日（水）～２３日（金）の業間・昼休み　@高学年図書室

＜あそびかた＞
①高学年図書室でチャレンジしたいクイズの紙をもらう。
②クイズのこたえと自分のクラス・出席番号・名前を書く。
③高学年図書室にあるとしょかんポストに入れる。

丸つけをしてから職員室のおてがみポストに、
「としょしつからの　おしらせ」の封筒に入れて返します。

※皐月は５月の別の言い方で、早苗をうえる月から。

５月号のクイズ：なににについてのことばかな？

図書室にあることわざ・慣用句・四字熟語などについて書かれた本にのっていることばを、
今回はある物を作るとき、使うときの様子からできたことばをテーマにあつめました。
さて、なんでしょうか？
こたえは１階大下足前掲示板をみてください。

	意味
相づちを打つ	相手の話に合わせて、うなずいたり、賛成していることをあらわす短いことばを言う。
しのぎをけずる	同じぐらいの力をもっている人どうしが、たがいに負けないようにと激しく争う。
切羽つまる	どうやっても切りぬけられないほど、追いつめられる。
反りがあわない	性格や考え方がちがうので、仲よくなれない。
ぬき差しならない	追いつめられて動きがとれず、どうにもならない。
火花を散らす	とても激しく争う。
身から出たさび	自分がした悪いことや失敗によって、自分自身が苦しむ。

今回使った本は、『三省堂　こどもことわざじてん』低学年図書室・禁帯出の本です。

テーマのヒント①　現代では本物を持つのに資格が必要です。
テーマのヒント②　美術館や博物館などで見学することができるものもあります。